



NPO 特定非営利活動法人

埼玉森林サポータークラブ

コミュニケーション・ニュース

【令和5年10月1日 発行（季刊） VOL. 95】

第75回全国植樹祭の取組状況について

令和7年春に本県で開催される第75回全国植樹祭について、令和5年度の取組状況について御報告します。

1 基本計画の策定

大会の基本的な実施内容等を定めた基本計画を策定中であり、令和6年1月頃に完成する予定です。基本計画の中で、すでに決定している事項をいくつか御紹介します。

（1）開催理念

埼玉県の森林や自然環境に基づき、大会開催の根本的な考え方を示した開催理念を以下のとおり決めました。

- 適切な森林の整備と森林資源の循環利用を推進し、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮することで、森林・水・木材と私たちの暮らしや産業との結び付きを深め大切にしていきます。
- 豊かな川で繋がる山村と都市が、協力して森林・みどりを共有の財産として守り育て、元気な姿で未来の子供たちへ繋いでいきます。

（2）大会テーマ

埼玉らしさを全国に発信する大会テーマを公募により選定し、全国2,000点の中から以下の作品が最優秀賞として大会テーマに選ばれました。

「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」

（塚本 美幸さん 埼玉県川越市）

（3）大会シンボルマーク

全国植樹祭の開催理念・大会テーマ等を踏まえた大会シンボルマークを公募により選定し、全国664点の中から以下の作品が最優秀賞として大会シンボルマークに選ばれました。（石附秋彦さん・東京都）



（4）お手植え・お手播き樹種

大会当日、天皇皇后両陛下にお手植え・お手播き賜わる樹種を以下のとおり決定しました。

	天皇陛下	皇后陛下
お手植え	ケヤキ	ヒノキ(少花粉)
	スギ(少花粉)	コナラ
	トチノキ	ヤマザクラ
お手播き	ヒノキ(少花粉)	スギ(少花粉)
	アカシデ	イタヤカエデ

（5）企業等協賛の募集について

第75回全国植樹祭の開催趣旨に賛同いただける団体や企業等の皆様に、大会の準備・運営に要する資金や物品等の支援、協力を求めるものです。

協賛の種類については、

①資金協賛 ②物品協賛 ③その他協賛となっています。

具体的な協賛の要綱等は大会HPやチラシで御案内しています。

2 機運醸成の活動

（1）どこでも植樹祭

県内で実施される各種イベントに合わせ、全国植樹祭のPR活動を「どこでも植樹祭」と銘打ち、実施しています。PR活動の内容は、ブース展示、PRグッズの配布、植樹体験、苗木の配布など、会場の規模等に応じて設定します。

（2）苗木のスクールステイ

県内の保育所などに全国植樹祭や関連イベントで使用する苗木を配布し育てていただくとともに、森林の大切さを伝える森林学習を実施しています。 スクールステイの実施園



（埼玉県農林部全国植樹祭推進課）

活動記録 (2023年6月・7月・8月)

月 日	曜日	フィールド	内容	参加数
6月4日	日曜日	ときがわの森	間伐	18
6月4日	日曜日	高田松原津波復興祈念公園(岩手県)	全国植樹祭(植樹・式典)	2
6月9日	金曜日	日遊協共生の森(仙台市・名取市)	枝打ち指導	5
6月10日	土曜日	日遊協共生の森(仙台市)	下刈り指導	5
6月10日	土曜日	鷹ノ巣の森	下草刈り	6
6月11日	日曜日	龍ヶ谷の森	草刈り・植栽木整理	中止
6月13日	火曜日	日遊協総会(新宿区・ハイアットリージェンシー東京)	当会への感謝状贈呈	3
6月14日	水曜日	高谷の森	伐採作業	中止
6月17日	土曜日	埼玉会館3C会議室	定期総会	29(103)
6月18日	日曜日	高谷の森	除伐・草刈り	10
6月18日	日曜日	くるみ小屋	道普請・草刈り	8
6月18日	日曜日	高谷の森	下草刈り	10
6月24日	土曜日	笠幡の森	笹刈り・枝条整理・倒木整理	16
6月25日	日曜日	緑の森博物館	下草刈り	15
7月1日	土曜日	ときがわの森	除伐	中止
7月2日	日曜日	カタクリの里	下草刈り	11
7月5日	水曜日	高谷の森	枝払い	4
7月8日	土曜日	鴻巣赤城屋敷林	下草刈り(小活動)	8
7月9日	日曜日	越生ふれあいの里山	除伐	中止
7月12日	水曜日	桶川加納屋敷林	下草刈り(小活動)	7
7月16日	日曜日	くるみ小屋	水道メンテナンス	11
7月22日	土曜日	寄居風布の森	間伐	17
7月23日	日曜日	緑の森博物館	下草刈り	11
7月30日	日曜日	ときがわの森	除伐	22
8月20日	日曜日	くるみ小屋	林内整理	10
8月23日	水曜日	栃木県那須町	会員研修	17
8月24日	木曜日			
8月27日	日曜日	緑の森博物館	下刈り	18

自然のたより(63) 佐渡・ヤマトグサ

牧野富太郎をモデルにした、NHKの朝ドラ「らんまん」が9月いっぱい終了しました。私は朝ドラを視聴することはまずないのですが、この番組だけはとても魅せられました。植物に親しんでいますと牧野氏の名は頻繁に出てきます。「雑草という名の草はない」というのも彼の植物への尊敬・愛かなと思います。彼が命名した植物種は1500を超えとか、40万点に及ぶ標本とか、まさに巨人、怪物のような存在です。この4月末に植物好きの仲間と佐渡に行き、ヤマトグサを見ることができました。これは日本固有種であり、しかも日本人牧野氏によって最初に学名がつけられた記念すべき植物です。(Theligonum japonica Okubo et Makino)

ヤマトグサは図鑑で見ますとハコベに似た何の変哲もない植物ですが、これが花の時期になると、まず見たことのないような変わった姿になります。それは、かんざしのような雄しべがぶら



下がるのです。これを探しに花の時期に佐渡に行ったのです。アオネバ溪谷に入って間もなく、地面を凝視しながら歩いていくと、風にゆらゆら光るものが見えました。これがまさに「かんざし」でした。因みにヤマトグサの分布は全国的に限られていて、埼玉にはないそうです。大阪以西が主な生息地のようです。

佐渡はシカなどの大型獣がいないので、貴重な植物が食害に遭わず残っています。また、佐渡と言えば「トキ」ですが、この保護に連なるボランティア活動をサポータークラブのメンバー有志が何年も続けています。何だか身近に感ずる島ですね。

〈No. 647 賀登 環 川越市〉

ヤマト草 4/25 撮影

第10回全国植樹祭

昭和34年（1959年）4月5日に、埼玉県寄居町金尾で開催された全国植樹祭を紹介します。

天皇皇后両陛下は、お召列車で10時50分に寄居にいらっしゃいました。金尾の会場に車で移動され11時20分にお野立所にお着きになり、11時23分から29分に両陛下はヒノキ3本ずつ「お手植え」されました。その後参会者7,000人が、3.8haの森林に15,200本のヒノキ植樹している間、山崎林野庁長官、栗原知事の奏上をお受けになり、11時46分に林業試験場に向かわれました。12時18分から22分に両陛下はスギ、ヒノキの種子を「お手播き」されました。御昼食、林業試験場御視察などをされ13時52分に寄居駅に向かわれ14時5分にお召列車で御帰還されました。植樹祭に先がけて10時から53分まで国土緑化大会が行われ、大会宣言、表彰等も行われました。テーマは「林種転換」であり、スギ・ヒノキの造林が推奨された時代です。

（写真）

お召列車



天皇皇后両陛下御到着



お野立所の両陛下



天皇陛下お手植え



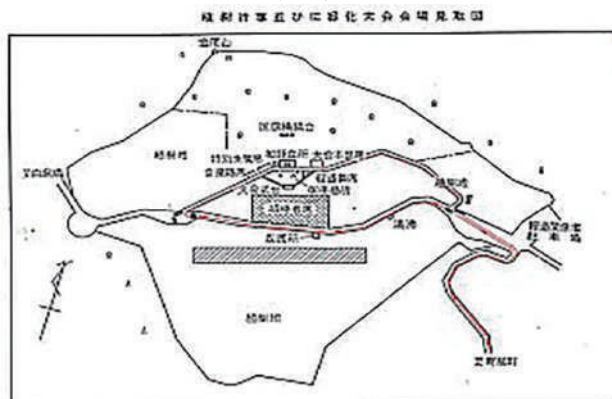
皇后陛下お手植え



植樹風景



会場配置図



さて、昭和34年はどんな年だったのでしょうか。植樹祭の5日後の4月10日に当時の皇太子殿下と美智子様（現在の上皇上皇后両陛下）が御結婚されました。高度経済成長が始まり毎年10%以上の成長が昭和48年の第1次オイルショックまで続きました。また、5月26日に1964年の東京オリンピック開催が決まり、インフラ整備も本格化し首都高速道路や東海道新幹線が着工しました。一方、9月には伊勢湾台風が上陸、全国で多大な被害をもたらした年でもありました。

〈No. 719 玉熊英一 さいたま市〉

■夏季研修会（那須）の実施

8月23日（水）・24日（木）に栃木県那須町において会員の夏季研修会を開催しました。23日は生憎の雨でしたが、参加者17名が5台の車に分乗し、12時頃道の駅「那須高原友愛の森」に集合しました。雨天なので当初の予定を変更し環境省の「那須ビジターセンター」を見学することになりました。映像を鑑賞、展示品などで那須の自然について学習することができました。次に予定の那須岳にと「那須ロープウェイ山麓駅」に向かいました。駐車場に着くと視界が極めて悪く5m先も見通せない状況でした。ロープウェイ乗車は断念して駅舎にて記念撮影を行い研修の思い出を作りました。天候の回復が見込めないことから旅館石川荘に向かうことにしました。24日も霧雨ではありましたが、8時半に「那須平成の森」に向かいました。この森は豊かな自然が残る御用邸の森の動植物について正確な記録を残し、その後の経年変化などを把握するため、上皇陛下が天皇陛下御在位20年という節目の機会に、御用邸の森のおよそ半分にあたる約560haが宮内庁から環境省へ移管され、平成23年に開園された施設です。この森には豊かで多様な自然環境が残されており、ブナの自然林などが広がるほか、希少種をはじめ多くの動植物が生息・生育していることが確認されています。フィールドセンターのスタッフから地形や特色など説明を受けた後、ふれあいの森エリアの自然観察にでかけました。私たちの歩いたコースは、コナラなど落葉広葉樹の20～40年生ぐらいと思われる森で、戦中・戦後に薪炭林として活用されてきた森林でしたが、手入れが行き届いている印象でした。フィールドセンターに戻りコーヒーを堪能した後、車で「駒止の滝」の観瀑台に移動し見事な滝を見学しました。そして、「那須高原展望台」から那須平成の森・御用邸の森・那須の町並み等を展望しました。最後に、松尾芭蕉も訪れたという「殺生石」を見学し、帰路につきました。帰宅途中に、日光市の会員の森林調査のため立ち寄ったグループもありました。天候には恵まれませんでしたでしたが、いつもと異なる森林を知ることは有意義であったと思います。皆様お疲れさまでした。

〈No. 719
玉熊英一
さいたま市〉



■7月22日（土）寄居町「風布の森」



右側が17年前に間伐したエリア

新しいフィールドとして今回から「風布の森」の活動が始まりました。現場は15年生の杉と30年生の松のエリアがあり、共に間伐を行っています。15年生の杉エリアは、木が密集し上空は枝葉に覆われ林内は陽が入らず真っ暗な状況です。30年生の松のエリアは、林内は明るく下草も生えた環境ではありますが、木の成長に合わせた間伐が必要な時期になっています。実はこの30年生の松のエリアは、17年前にサポータークラブで間伐を行った場所であり、当時13年生の森での間伐の成果が今見られるという、ある意味貴重なフィールドかも知れません？

〈No. 30 木島浩 寄居町〉



寄居風布の森は遠い場所ではありましたが、7月22日第1回の活動が、17名も参加があり実施しました。今回の間伐エリアは一度も間伐してないスギの15年生林で、太さは6～7cmのものが多く、今回はすべて手作業による間伐にすることにしました。手ノコの間伐は基本の作業で、ここでうまく間伐できなければ、チェーンソーではあつという間に切ってしまうので、自分の技術を見直すいい機会でもありました。間伐した後は、一部日が差しきて、その成果がでてきました。昼食は浦高百年の森のログハウスの前をお借りして、スイカの差し入れも大変おいしくいただきました。

〈No. 522 岡田 豊国 東松山市〉

越生ふれあいの里山活動（越生町）

■9月10日（日）

今回は前回7月活動が雨天中止となり、6月活動から3か月ぶりの活動となりました。

9月になり少しは秋を感じることができるかと期待しておりましたが、まだ蒸し暑い中での活動となりました。今回はA地区とD地区のさくら公園境界部の除伐作業を実施。D地区側では蜂を確認し巣周辺を避けての作業となり、次回活動時にその周辺を再確認しながら残りを行う事となります。通常活動とは別班にて10月のオークネット間伐体験エリアの選木と準備作業を行い、無事準備を完了させることができました。

〈越生ふれあいの里山担当 No.784 平井崇詞 狭山市〉



緑の森活動（入間市 緑の森博物館）

■7月23日（日）下草刈り

初参加者2名を迎え、朝礼前から下草刈りの説明や大鎌の研ぎ方実習等が自然に始まった。作業区域はクラブ20周年植樹を行った「雑木林広場」周辺の下草刈りで、作業予定を延期していたため草丈が高く伸びていた。猛暑の中での作業でしたが、「あずま屋」で休憩を取りながら熱中症に注意して順調に作業を進め、早めに作業を終了した。



大鎌の研ぎ方実習

記念植樹地で集合写真

■8月27日（日）下草刈り

猛暑日が続く中の下草刈りで作業区域を6月に実施した区域に変更し、再度の下草刈り、カバー状になった蔓の除去、枝の剪定、落枝の片付け等、林床を整備した。作業中には各所でハチの飛来が見られた。休憩を取りながら、現場で作業の振り返り、終礼を済ませ早めに作業を切り上げた。大汗をかいた後で、雑木林の木陰を吹き抜ける風がとても気持ちよく感じた。緑の森博物館の活動について、今後の活動方向や方法を検討し、年間計画作成時に提案できればとの助言を頂いた。〈緑の森博物館担当 No.768 武藤光盛 所沢市〉

ときがわの森活動（ときがわ町）

■7月1日（土）雨で中止。

■7月30日（日）参加者22名

手作業2班16名と昼のお楽しみ会の準備6名に分かれて活動しました。

猛暑のなか大勢参加頂いた方々の「お目当て」の準備ができるまで手作業班は、この秋、間伐予定エリアの除伐をしました。

当初、雑木が密なエリアを、体力が期待できそうな精鋭6名でガンバッテもらい、もう一組は年長の方々中心に、時間まで下から適当に進んでいただければイイヤと思っておりました。いざ作業をしてみると、年長組の方々が、ペチャクチャ楽しそうに喋りながらいいペース登ってきていただき、除伐したい全てのエリアを早めに終了できました。

「年寄のくせにヤルヤン。」という感でした！

お楽しみ会は、皆さんお腹パンパンでした！



そうめん流し

■9月2日（土）参加者15名

手作業伐木研修の1班と機械作業班2班に分かれて、活動地左側稜線部の間伐をしました。前日夕方時点で熱中症警戒アラートは発表されておらず、実施としたわけですが、当日風が無く、現地までの道具を持っての登りは相当辛いものでした。

樹々がドンドン成長し、「枝の重なりが激しく、樹を倒すのに相当難儀だった。」との声が多数あがりました。

■10月以降は、基本的に手作業班は枝打ち、機械作業班は間伐を進めたいと思っています。

〈ときがわの森担当 No.790 山根義之 朝霞市〉

新入会員発言

山の日に思う アメリカの生物学博士の実験で、縦横30cm×深さ約56cmの木箱に砂を入れ、一本のライ麦の苗を植えて水をやりながら数ヶ月育てた。色つやもなく実も少ない貧弱な苗が育ったが、根の長さの総計はにわかには信じられませんが11,200kmもあったそうです。生きていただけなのに、凄い生命力を感じますね。私はクラブに入会して3年目です。入会してからほぼ同じ方々からご指導頂いております。最近思うことですが、活動現場でお会いするたびにその方々が以前よりも元気だなあと感じることでです。森林で活動していると、あの力強い植物たちの生命力を人間が吸収しているのかもしれないですね。目に見えないエネルギーのようなものを感じます。山の恩恵に感謝し、これからも元気で活動できることを願います。

〈No. 815 森 伸章 さいたま市〉

シリーズ 薪ストーブの魅力と暮らし

第42話『煙&臭い』

薪ストーブは他の暖房器具と比較にならない程、飛びぬけて優れた暖房能力があります。それほど優れたものであっても世間一般には普及していません。その主な理由は、薪の調達の難しさと煙&臭いにあります。薪の調達はその人の努力と苦労と覚悟があれば何とかできますが、煙&臭いはそういう訳にはいきません。薪ストーブショップへ行くと「今のストーブは性能が良いから煙も臭いもほとんど出ない」「乾燥の良い薪を上手に焚けば煙も臭いもほとんど出ない」というようなことを聞いたりします。嘘ではありませんが、煙と臭いはゼロにはならないということです。もし煙と臭いがゼロになる装置でも出来たら、未来の暖房は原子力ではなく原始力エネルギーの薪に転換され、森林の利用や保全の在り方も変わることでしょう・・・？

〈No. 30 木島 浩 寄居町〉



森林の雑学

明治神宮の森



原宿にある明治神宮の森林を見たことがあるでしょうか。この森は新宿と渋谷の大都市に挟まれています。都市空間とは隔絶された約70ヘクタールの常緑広葉樹が鬱蒼と茂る空間になっています。この森に入ると不気味なほどの静けさで、大都市の騒音は全く耳に入らず、鳥の鳴き声だけが聞こえてきます。この森は千年の前から自然に生育した原生林のように見えますが、実は大正期に人間が植栽して造成された森林なのです。

明治45年7月に明治天皇が崩御され、その陸墓は京都の伏見桃山に内定していましたが、東京にもそれに代わるものをとの市民の声が大きくなり、大正2年3月、衆議院で明治神宮の建議が可決されました。

大正4年4月に「明治神宮造営局」が発足し、その参与として東京帝国大学教授川瀬善太郎（林政学）、本多静六（造林学）（埼玉県菖蒲町出身）らがいて、造林や育林についての専門的な提言を行いました。

本多静六を中心として森づくりの基本方針が検討され、まず神社林として理想モデルが想定されました。それは大阪府堺市にある仁徳天皇の御陵でした。仁徳陵内の森林は密林状態の原生林が維持されており、これが極相状態の森林でありました。人工造林によっても、このような森林を造り得ることを示しており、本多らはこれこそ理想の神社林であると考えました。ひとたび植栽すれば、その後は人手を入れなくても自然更新して、森林を維持できるようにすることです。神宮の森の理想像は「自然の森」であり、百年後に人工の森が自然の森と見紛うほどの森林の姿になり、しかも永遠に存続する森林を造ることでありました。

現在の神宮の森は、大都市の真中に造った紛れもない人工の森林であります。今では当時植栽した樹木の天然更新が進行して、自然林そのものの姿を示しています。

〈No.660 小室正人 さいたま市〉

◇ 新会員の御紹介

833 松坂 珠生さん(さいたま市)

834 伊藤 新治さん(さいたま市)

◇ 令和5年度会費納入のお願い

会費納入をお済みでない方は、下記の郵便振込をお願いします。

口座番号 0120-2-407239

加入者名 NPO法人埼玉森林サポータークラブ

年会費 3千円

◇ 体調管理を万全にして、活動参加のお願い

コロナの対策については、マスク着用の有無等、各自の判断に委ねられていますが、コロナが再び流行のきざしが見られますので、体調管理を万全にしての参加をお願いします。

【森林の話 保育】

植林する苗木は、2～3年苗畑で育てられた50～60cmです。最初は根が土の中で成長するため雑草の方が背丈が高く雑草にまみれてしまいます。そのため植林してから8年程度は「下刈り」が必要になります。それも夏の暑い時期に行わなければなりません。その理由は①雑草木の成長速度がピークに達すること、②雑草木が前年に蓄えた養分を使い切り、これから翌年の成長に必要な養分を蓄えようとしている時期であること、③高温多湿になると植林した樹木が埋もれて生理障害を起こし衰弱枯死する場合があることなどの理由です。この「下刈り」が最も大変な作業になります。

そして必要に応じて「除伐」「つる切り」を行ない、順調に成長し胸高直径が15cmになると胸高断面積の合計が50㎡/haを超えるようになります。このころから「間伐」を始めます。胸高断面積合計は80㎡/haが限度でそれ以上成長することができなくなり自然に枯死していきます。そこで胸高断面積合計を50～70㎡/haに保つように「間伐」を繰り返します。胸高断面積合計は80㎡/haの森林は胸高直径が25cmで1600本/haですがスギ・ヒノキの柱材生産はこの頃伐採の時期を迎えます。その後更に板材を生産するために利用間伐を切り返し、胸高直径が40cmでは概ね600本/ha、胸高直径が50cmでは概



ね400本/haの森林として育てていくこともできます。西川林業地では伐採時にha当たり5～10本程度残して「立て木」して胸高直径が100cmの木を育てることもあります。西川林業地には200年のスギが残されていますが見事なものです。屋久島には1000年を超える樹木もありますので寿命まで育てることができればと思うこともあります。〈No. 719 玉熊英一 さいたま市〉

クラブ員の声

活動レポート＝カタクリの里（2023年7月2日）

〈No. 792 金子令治 川口市〉

前日には天候が心配されましたが、当日は晴れ！ただし、晴れるとこの時期当然暑くなるので、この時期の快晴を「いい天気」と呼んでよいのでしょうか…。クラブからは約10名、さらに地元の方も加えての草刈り作業でした。私の担当箇所は傾斜地の草地で、傾斜での足元安定確保に苦労しましたが、幸い転げ落ちることなく受け持ち範囲は刈り終わりました。草むらに潜んでいた石ころとゴルフボールにちょいちょい刃が接触したため、やや高めの草丈仕上がりとなりました。暑さは厳しかったですが、途中休憩でいろいろな差し入れ（＝ありがとうございました！）をいただき、体力回復できました。



編集後記

今年も秋季になりましたが、9月になっても残暑お見舞いの状況が続きました。9月2日のときがわの森は間伐作業の為、チャプスを着用しましたが、パンツならずズボンも汗びっしょりとなりました。そんな中、9月5日の日経新聞に、マダニが媒介する感染症の患者が増加しているとの記事がありました。死者も出ているとの事。マダニの分布が北日本に拡大しているとの研究もあり、我々も山中や草むらで、特に裾部位の肌が露出した状態にならないよう服装に注意しましょ（No. 707 菅谷 榮 さいたま市）

「クラブ員の声」欄への投稿を200字程度でお願いします。

活動スケジュール（2023年10月～12月・2024年1月）

月 日	曜日	フィールド	活動内容	集 合 場 所
10月1日	日	ときがわの森	枝打ち(手)枝打ち実習	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
10月8日	日	越生ふれあいの里山	オークネット準備、除伐、草刈り	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
10月9日	月	寄居風布の森	間伐(手)、(機)共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
10月14日	土	笠幡の森	笹刈り 手)枝条整理 機)笹刈り	川越市笠幡1953 林内通路脇
10月15日	日	くるみ小屋	作物収穫等	神川町上阿久原 くるみ小屋
10月15日	日	高谷の森	下草刈り・苗木固定	小川町高谷八幡2737 総合グラウンド入口左折 すぐ
10月21日	土	越生ふれあいの里山	オークネット活動支援	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
10月22日	日	緑の森博物館	下草刈り(手)、(機)共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館
10月28日	土	桶川・加納屋敷林	林内整理(手)竹林伐採(機)下草刈り	桶川市加納436
10月29日	日	黒山の森	間伐(機)間伐	越生町黒山771
11月3日	金	寄居風布の森	間伐(手)、(機)共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
11月4日	土	黒山の森	間伐(機)間伐	越生町黒山771
11月5日	日	ときがわの森	枝打ち・間伐(手)、(機)共	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
11月11日	土	鷹ノ巣の森	除伐・間伐	小川町鷹巣680
11月12日	日	龍ヶ谷の森	草刈り・植栽木整理(手)、(機)共	越生町大字大満257 大満農村広場
11月18日	土	笠幡の森	笹刈り 手)枝条整理 機)笹刈り	川越市笠幡1953 林内通路脇
11月19日	日	くるみ小屋	除伐(手)、(機)共	神川町上阿久原 くるみ小屋
11月23日	木	ときがわの森	枝打ち・間伐(手)、(機)共	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
11月25日	土	岩槻浄国寺の森	林内整理(手)、(機)共	さいたま市岩槻区加倉1-25-1
11月25日	土	農林業ドリームフェスタ	農林業ドリームフェスタ	熊谷ドーム前広場
11月26日	日	農林業ドリームフェスタ	農林業ドリームフェスタ	熊谷ドーム前広場
11月26日	日	緑の森博物館	下草刈り(手)、(機)共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館
11月30日	木	梅園小活動支援	間伐体験(手)、(機)共	越生町立越生中学校駐車場(予定)
12月2日	土	寄居風布の森	間伐(手)、(機)共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
12月3日	日	ときがわの森	枝打ち・間伐(手)、(機)共	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
12月9日	土	黒山の森	間伐(機)間伐	越生町黒山771
12月10日	日	越生ふれあいの里山	除伐、草刈り(手)、(機)共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
12月16日	土	笠幡の森	笹刈り 手)枝条整理 機)笹刈り	川越市笠幡1953 林内通路脇
12月17日	日	くるみ小屋	餅つき等	神川町上阿久原 くるみ小屋
12月24日	日	緑の森博物館	下草刈り(手)、(機)共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館
1月3日	水	くるみ小屋	安全祈願	神川町上阿久原 くるみ小屋
1月4日	木	緑の森博物館	安全祈願	所沢市萩谷78 八幡神社
1月14日	日	越生ふれあいの里山	安全祈願・活動地バトロール	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
1月19日	金	梅園小体験支援	植栽指導等	越生町観音山頂上無名戦士の墓公園駐車場
1月20日	土	江戸屋弘東園	落ち葉掃き	三芳町上富1388-3 江戸屋弘東園駐車場
1月21日	日	笠幡の森	笹刈り 手)枝条整理 機)笹刈り	川越市笠幡1953 林内通路脇
1月21日	日	くるみ小屋	広葉樹伐採(手)運搬等、(機)伐採	神川町上阿久原 くるみ小屋
1月26日	金	梅園小体験支援(予備日)	植栽指導等	越生町観音山頂上無名戦士の墓公園駐車場
1月27日	土	江戸屋弘東園(予備日)	落ち葉掃き	三芳町上富1388-3 江戸屋弘東園駐車場
1月28日	日	緑の森博物館	間伐・除伐(手)、(機)共	所沢市萩谷78 八幡神社

※活動予定は、中止や変更することがあります。その節は一斉メールにてお知らせいたします。締め切り後に参加する時や、申込んだが当日欠席する時は事務局まで連絡を！直前の当日欠席は世話役まで連絡を！
 ※集合時間は8時30分です。支度をして集合して下さい。

拠点フィールドのご案内

■ときがわの森（ときがわ町）

毎月第1日曜日活動（担当：山根義之・岡田豊国）

■越生ふれあいの里山（越生町）

毎月第2日曜日活動（担当：平井崇詞・鈴木久代・樽石亜由美・菊池修一郎）

■緑の森博物館（入間市）

毎月第4日曜日活動（担当：武藤光盛・伊東喜尋）

埼玉森林サポータークラブ・コミュニケーション・ニュース 2023年10月1日発行（年4回発行）

■発行：特定非営利活動法人（NPO法人）

埼玉森林サポータークラブ

■発行責任者：霜触 賢 ■編集リーダー：沢田 正

■編集スタッフ：木島 浩・北村 博・梶田 カ・小室 正人・利根川雅実・香取由美・樽石亜由美・菅家征史・小坂博美・伊東喜尋・片野健一・菅谷 榮・岡田豊国・平井崇詞・藤井俊文・玉熊英一

■事務局：〒330-0063埼玉県さいたま市浦和区高砂3-12-9 農林会館B1 TEL. 048-814-2770

<事務局開設日：月・水・金>10時～15時

■事務局メールアドレス

info@shinrin-supporter.org

■ホームページアドレス

http://www.shinrin-supporter.org/